

うっしっしいー情報2019

12月市



豊岡農業改良普及センター

12月11日に行われましたセリ市全体の平均価格は、去勢が80万1千円、雌が86万1千円でした。

普及センター調べ（税込価格）
（雄を除くため、JA公表数値とは異なります）

地域	去勢			雌			総計	
	頭数	DG	平均価格	頭数	DG	平均価格	頭数	平均価格
赤佐	10	0.825	538,230	6	0.769	519,017	16	531,025
丹波篠山	3	0.929	805,567	7	0.762	816,357	10	813,120
丹波	22	0.954	781,650	17	0.836	852,047	39	812,336
朝来	8	0.929	762,300	5	0.820	958,980	13	837,946
播磨	21	0.883	740,143	18	0.827	782,650	39	759,762
美方郡	70	0.962	835,120	65	0.864	914,455	135	873,319
豊岡	17	0.932	813,741	15	0.846	862,840	32	836,756
養父	29	1.002	867,938	22	0.863	886,200	51	875,816
摂津・神戸	6	1.002	817,300	8	0.842	797,088	14	805,750
県北C	1	0.897	710,600	2	0.731	768,350	3	749,100
市場全体	187	0.947	800,606	165	0.844	860,533	352	828,697

12月市種雄牛ランキング

順位	種雄牛	去勢			雌			総計	
		頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均価格
1	芳悠土井	38	0.965	828,561	30	0.878	951,940	68	882,993
2	照和土井	10	0.978	848,100	22	0.873	891,200	32	877,731
3	丸明波	5	0.958	827,420	5	0.792	846,340	10	836,880
4	千代藤土井	14	1.022	837,886	4	0.892	830,500	18	836,244
5	丸池土井	25	0.943	804,232	28	0.816	851,911	53	829,421
	総計	187	0.947	800,606	165	0.844	860,533	352	828,697
6	丸宮土井	19	0.901	785,979	11	0.844	883,300	30	821,663
7	芳山土井	24	0.934	763,125	18	0.873	868,633	42	808,343
8	照忠土井	25	0.913	797,544	14	0.841	810,779	39	802,295
9	丸春土井	10	0.890	720,830	11	0.833	808,400	21	766,700

価格は税込み (10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載)

ランキング種雄牛の育種価

	種雄牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
1	芳悠土井	A	A	B	B	B	A++
2	照和土井	A++	A++	B	B	A	A+
3	丸明波	D	A++	D	B	A++	A+
4	千代藤土井	A	A+++	D	A+	A++	A++ → A+
5	丸池土井	C	A+	C	B	A+	A++
6	丸宮土井	C	B	A	A++	A+	A++ → A+
7	芳山土井	A+	A++	A++	C	A+	A+
8	照忠土井	B	A+++ → A++	A	A+	A+++	A+
9	丸春土井	B → C	B → C	B	B	B	A++ → A+

北部農業技術センター提供 (育種価評価は令和01年8月現在)

～牛舎の衛生管理～

今年度は哺乳期の飼養管理についてシリーズでお伝えしています。

これから寒い時期を迎えますが、皆さんの牛舎ではどのような事に気をつけていますか？

「寒くなるから、冷たい風が入らないように窓閉めよう」とか「子牛が風邪を引かないように保温器をつけよう」・・・でしょうか。牛も人も体調管理には気をつけて下さいね。

それもこれも大切な事ですが、牛舎全体を見回したとき、何か気づくことはありませんか？

今回は少し視点を変えて、最近市場に出荷される子牛を見て気になる事についてお話しします。



写真1.菌に感染した牛

○命に関わる病気ではないけれど・・・

さて、皆さんの牛舎では、写真1のような牛はいませんか？

これは、牛の「皮膚糸状菌症（ひふしじょうきんしょう）」または「牛白癬（うしはくせん、以下白癬）」という「カビ」の一種による病気です。

命に関わる病気ではないですが、罹患するとやっかいな病気の一つです。

白癬多発の原因は様々ですが、「**牛の栄養状態のバランスが崩れ、大きなストレスがかかっている**」ことが根本的な問題となります。

特に子牛の場合は、母乳やミルクの明らかな不足、スターターが十分に摂取できていないのに離乳することや育成飼料の与え方、母牛の管理の悪さなども関係します。さらには分娩房から群飼いに移した時のストレス等も影響します。

さらに困った事に、この病気は「人間にもうつる（写真2）」ことです。

では、この病気に対処するにはどのようにすれば良いのでしょうか？



写真2.子供への感染（黄色丸囲み部分
松本大策氏のサイトより引用）

○ここが大事！「菌の住処」はどこ？

菌は一体どこに潜んでいるでしょう？（図）

答えは「**C：鉄製の柵**」です。この答えを聞いて意外だと思われる方も多いでしょう。

A・B・Dでも少しは菌が採れるらしいのですが、殆ど採れないのだそうです。

白癬菌は、木やコンクリートにはうまく定着できません。またオガクズには「尿素」や「窒素化合物」が多く含まれているため、菌が発育できないと言われています。

「牛→牛」より「牛→**鉄**→牛(人)」と感染が広がる可能性があります。

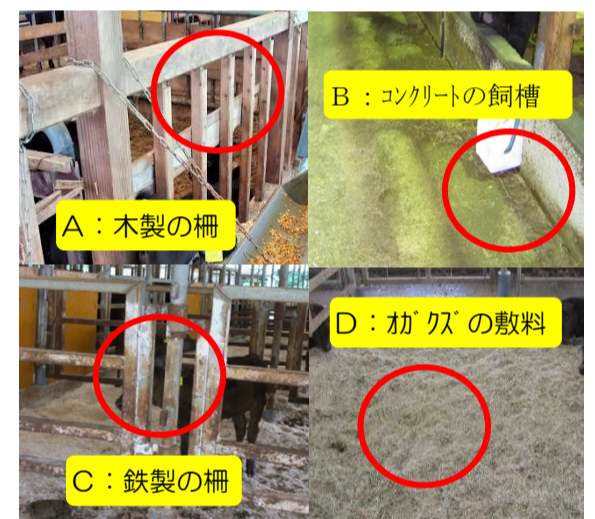


図.「菌の住処」はどこ？

○どうすれば対処できる？

牛体への治療・予防については様々な方法があります。また、菌の種類によっても対処法が異なる場合もあるので、そこは獣医さんとよく相談して下さい。

ここでは牛舎での対処法についてお知らせします。一度試してみてください。

(1) 園芸用のプレッシャースプレー（写真3 中はよく洗って下さい）またはジョウロを用意する。

(2) 消毒薬を畜舎消毒用に説明書どおりに希釈する。

(3) 白癬が広がっている牛舎の牛が触れる鉄製部分に消毒薬をかける。

(4) 1週間間隔で4回、そのあと2週間間隔で2回程度行う。

この方法で白癬だらけの牛群がおおよそ2ヶ月で白癬ゼロになったそうです。

「消毒液は何を使うの？」・・・結論から言うと「何でも良い」そうです。極論を言えば「水でも良い」そうです。



写真3.プレッシャースプレー

「鉄製の柵に付いている白癬菌を洗い流す感覚で使えば効果あり。白癬菌はかなり弱い菌である。」

「さすがに水だけでは」、そうですね。それでは合点いかない方は「ロンテクト」や「クリアキル」などの「塩化ジデシルジメチルアンモニウム」を主成分とする消毒薬や「逆性石けん」を使ってみてはどうでしょうか。確実な効果が実証されているようです。

今回紹介した方法は非常に簡単です。すぐに出来ます。なぜか？「消毒するターゲット（＝鉄製部分）がわかっている」からです。ただ漠然と「牧場を消毒してください。」といわれても困りますものね。

最初の1ヶ月はなかなか効果が見えてこないかもしれませんが、諦めずに続けてください。その後は程度の差はあると思いますが、だんだん目に見えて効果を実感できると思います。

もしも白癬が多発して困っているのであれば、健康な子牛を市場出荷するためにも是非試してみてください。

牛だけでなく、人にも移さないように。感染すると結構「しつこく」「かゆい」そうですよ。

※本資料中、菌の住処・白癬への対処法は、(有)シェパード中央家畜診療所の松本大策氏のサイトから引用しています。